

深海調査映像の海洋底地球科学への利用可能性 Availability to the ocean floor geoscience of the deep-sea videos

北山 智暁^{1*}, 田中克彦¹, 荻堂盛誉², 伊禮一宏², 嘉陽牧乃², 齋藤秀亮¹, 華房康憲¹, 仲村亮², 園田朗¹
Tomoaki Kitayama^{1*}, TANAKA, Katsuhiko¹, OGIDO, Moritaka², IREI, Kazuhiro², KAYO, Makino², SAITO, Hideaki¹, HANA-FUSA, Yasunori¹, NAKAMURA Makoto², SONODA Akira¹

¹(独)海洋研究開発機構, ²(株)マリン・ワーク・ジャパン

¹JAMSTEC, ²Marine Works Japan LTD

深海調査で得られた映像は、調査・採集が困難な深海底の地質・地形、深海環境の経時変化、極限環境における生物の生育等成育等を知る上での貴重な情報源であり、海洋・地球科学における利用価値とその重要性は高い。例えば、深海生物の観察映像はその行動を知る上で必要不可欠であり、海洋生物の多様性・分布情報を扱う統合データサイト「Biological Information System for Marine Life (BISMaL)」では、映像の撮影位置情報を元に分布の可視化が行われている。

独立行政法人海洋研究開発機構地球情報研究センター (JAMSTEC/DrC) では、潜水調査船や無人探査機により撮影された膨大な深海調査映像に、撮影潜航調査のメタ情報や撮影内容 (生物名や地質環境等) を付与し公開している。また、映像動向の進展に合わせた深海調査映像の品質最適化や、深海調査映像から広範囲の深海底環境を再現するパノラマ技術を用いた映像解析技術の導入を図るなど、海洋・地球科学における深海調査映像の研究データとしての利用価値向上を目指している。

本発表では、JAMSTEC/DrC における深海調査映像の研究利用を促進するための取り組みの紹介とともに、海洋底地球科学における深海調査映像の利用可能性について報告する。

キーワード: 深海調査映像, 研究データ, 利用促進

Keywords: deep-sea video, research data, utilization promotion